

「いじめ STOP 会議」を行いました(リモート開催)

11月27日(金)2時間目に、本校6年生は、大野ヶ原小学校5・6年生とのリモートにより「いじめ STOP 会議」を開催し、いじめをなくす活動について相互発表・意見交流を行いました。

大野ヶ原小学校の仲間とは、10月に連合で行った修学旅行・青少年交流の家利用活動以来の再開でした。

まず、調べ学習で明らかにした「昭和61年から平成25年までの“いじめの定義の変遷”」について、共有しました。

次に、野村小学校児童会が考えたいじめの定義「悪口や暴力など、自分がされて嫌なこと」を発表しました。そして、いじめを起こさないための野村小学校の取組(以下参照)を紹介しました。

①西予警察署野村交番、交通安全協会野村支部、更生保護女性会、商工会青年部、保護者などの協力による「登校時の挨拶運動」

②良いことをした人に贈り、4つたまとクローバーになる「クローバーカード」の作成・活用

③勇気づけられた言葉、言われてうれしかった言葉を入れる「スマイルボックス」の設置とお昼の校内放送での紹介

④豪雨災害やコロナ禍で困っている人の応援歌として作詞した「野村のうた」

⑤児童会の発案による「2学年間(6年生と他学年)遊び」

続いて、大野ヶ原小学校が伝統的に守っている5つの約束(以下参照)などの発表を聞きました。

○4つのダメ「無視・ひそひそ話・仲間外し・うそ」、気を付けたい言葉づかい

最後の意見交流・感想では、

○ 大変参考になる取組の発表でした。まねしてみようと思います

○ 自分たちと共通の取組もあり、うれしかったです

など、お互いの活動に対する賞賛が自然に溢れ、今後の活動意欲向上につながりました。

他校との交流により、大変充実した「いじめ STOP 会議」になりました。